

## 若者・子育て世代住宅取得奨励金制度について

若者や子育て世代の定住の促進を図り、人口の減少を抑制するとともに、活力あるまちづくりを推進するため、若者・子育て世帯の住宅取得（新築・中古住宅）を支援する奨励金交付制度を実施しています。

### 【制度の概要】

筑西市内に住宅（新築住宅・中古住宅）を取得して定住した若者世帯、子育て世帯に対し、定住の奨励金として1世帯あたり50万円を交付します。

### 【制度の対象となる住宅】

2021年3月31日までに所有権保存登記をした住宅

### 条件1 【奨励金交付の対象者】（新築住宅・中古住宅共通）

- 奨励金の交付のあった日から5年以上定住する意思があること。
- 対象住宅の全部事項証明書において、申請者の2分の1以上の所有権を確認できること。
- 対象住宅に居住する世帯員全員に市税等の滞納がないこと。
- 若者・子育て世代住宅取得奨励金の交付を過去に受けていないこと。
- 所有権登記受付年月日から6か月以内の申請であること。
- 申請者が、次のいずれかに該当すること。
  - a 申請者が40歳以下である（申請日時点）。
  - b 申請日の属する年度の末日において、18歳以下（高校生相当）の子（同居）がいる（申請日時点）。※申請者の年齢制限なし

## 条件2【奨励金交付の対象となる住宅】

### 新築住宅

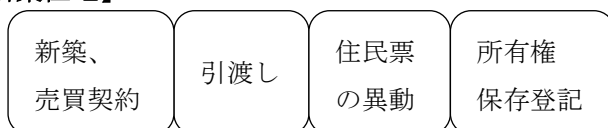
- 新築した住宅（建て替えを含む。）又は建売住宅等（分譲マンション含む。）で、建築後使用されることがないもののうち、当該住宅に係る建物の登記事項証明書（全部事項証明書）に記載された新築の日から1年以内の住宅であること。
- 宅地に建築された、玄関、台所、便所、浴室及び居室を有し、利用上の独立性を有するものをいい、専ら自己の居住の用に供する住宅（併用住宅（店舗、事務所、賃貸住宅その他の事業の用に供する部分と自己の居住の用に供する部分がある住宅をいう。）で延べ床面積の2分の1以上を居住の用に供しているものを含む。）であること。ただし、別荘等一時的に使用するもの及び賃貸、販売等の営利を目的とするものを除く。
- 建築基準関係規定に適合している住宅であること。
- 居住の用に供する部分の延べ床面積が50平方メートル以上であること。
- 家屋調査が行われた住宅であること。

### 中古住宅

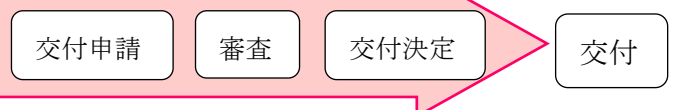
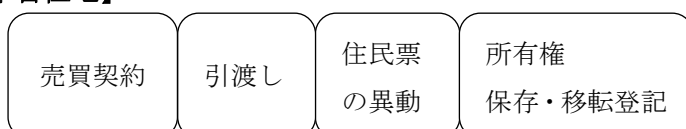
- 建築後使用されることがある住宅又は完成の日から1年を超える住宅であること。
- 宅地に建築された、玄関、台所、便所、浴室及び居室を有し、利用上の独立性を有するものをいい、専ら自己の居住の用に供する住宅（併用住宅（店舗、事務所、賃貸住宅その他の事業の用に供する部分と自己の居住の用に供する部分がある住宅をいう。）で、延べ床面積の2分の1以上を居住の用に供しているものを含む。）であること。ただし、別荘等一時的に使用するもの及び賃貸、販売等の営利を目的とするものを除く。
- 昭和56年6月1日以後の建築基準法の規定による耐震基準を満たす住宅であること。
- 居住の用に供する部分の延べ床面積が50平方メートル以上であること。
- 3親等以内の親族以外の者から購入した住宅であること。
- 購入価格（土地代含む）及び修繕費用の総額が300万円以上であること（税込）
- 交付を受けようとする者が、当該中古住宅について筑西市住宅リフォーム助成事業補助金その他本市で実施している他の同様の補助制度による補助（筑西市多世代同居住宅取得等奨励金を除く。）を受けていないこと。

### 【奨励金交付までの流れ】

#### 【新築住宅】



#### 【中古住宅】



## 【交付申請に必要な書類】

提出書類	取得場所	新築住宅	中古住宅
交付申請書（様式第1号）	市HP又は市企画課	○	—
交付申請書（様式第2号）	市HP又は市企画課	—	○
誓約書兼同意書（様式第3号）	市HP又は市企画課	○	○
居住する世帯員全員の住民票の写し ※世帯主、続柄が記載されたもの ※コピー不可	市市民課	○	○
対象住宅の登記事項証明書	法務局	○	○
建築確認済証のコピー	建築主事又は指定確認検査機関 ※住宅着工前に交付	○	—
対象中古住宅の売買契約書		—	○
対象住宅付近の住宅地図		○	○
対象住宅の現況写真 ※対象住宅全体が写っているもの		○	○
アンケート	市企画課窓口 ※申請時に記入可	○	○

## 【よくある質問 Q&A】

《提出書類について》

Q. 対象住宅付近の住宅地図や現況写真とは具体的にどのようなものですか？

A. 住宅地図について、住宅の周辺状況が分かるものであれば形式は問いません。

例：インターネットの地図サービスを印刷したもの、建築確認申請時に添付した地図など  
現況写真について、家の外観がわかるもの1枚提出してください。

## 【よくある質問 Q & A】(続き)

《申請について》

Q 申請は、どのタイミングですればよいですか？また、申請期限はありますか？

A 住宅を取得し、住宅の所有権保存移転登記が済んでから申請をすることができます。  
申請期限は、所有権保存登記等の受付年月日から6か月以内です。  
課税課による**家屋調査が済んでいることが奨励金の交付要件**となりますので、申請前に家屋調査を済ませておくことをお勧めします。

Q 申請書は申請者本人が提出する必要がありますか？また、郵送提出は可能ですか？

A 代理の方による申請書の提出も受け付けます。委任状は必要ありません。また、郵送による申請書の提出も受け付けます。

Q 振込先に配偶者や親の口座を指定することはできますか？

A 奨励金は申請者に交付するものであり、**申請者以外の名義の口座へのお振込みはできません。**

Q 他の補助金等との併用は可能ですか？

A 筑西市住宅リフォーム助成事業補助金、その他本市で実施している他の同様の補助制度による補助（筑西市多世代同居住宅取得等奨励金を除く。）の併用はできませんが、本市以外が実施する補助制度等との併用は可能です。

《交付条件について》

Q リフォーム、建て替えは対象となりますか？

A リフォームは対象外となります。建て替えは対象となります。

※この奨励金の交付対象とならないことを理由に、一度発行した証明書類（登記事項証明書、住民票等）の手数料の払い戻しはいたしかねます。交付の条件等が不明の場合は、事前に御相談ください。

### 【問い合わせ先】

筑西市企画部企画課

スピカ本庁舎4階 7番窓口

電話：0296-24-2197

E-MAIL:kikaku@city.chikusei.lg.jp